



DSK

株式会社 **電算システム**

株主の皆さまへ

第49期 中間報告書

第2四半期連結累計期間

平成27年1月1日～平成27年6月30日



杵振り踊り(岐阜県・中津川市)

東証第一部 / 名証第一部 3630

Challenge Innovation Speed

Contents

| | |
|--|-----|
| 株主の皆さまへ／配当について | 02 |
| BPO事業の長期的成長の可能性 | 03 |
| 平成27年12月期 第2四半期(累計)の業績について 経営指標の推移／事業別の業績 | 05 |
| シリーズ・お客さまとともに Vol.11 | 08 |
| DSK TOPICS | 09 |
| 会社概要及び株式情報 | 10 |
| DSKラウンジ | 裏表紙 |

特集

表紙について

「杵振り踊り(岐阜県・中津川市)」

岐阜県中津川市の北西・県道72号線に面した蛭川今洞地区にある安弘見神社の例大祭・杵振り踊りは、岐阜県の重要無形民俗文化財に指定されています。囃子に合わせ杵を操る踊り子たちとともに隊列を組むおかめ、ひょっとこ、鬼、天狗、大きな花を背負った花馬、神馬などが約2kmの道のりを五穀豊穡を願って安弘見神社に奉納されます。鮮やかな赤、黄、青色の笠と衣装を身に纏い神社を目指して練り歩く杵振り踊りは、長い伝統を受け継ぐ祭りのメインとなっています。

(写真：岐阜新聞社提供)



株主の皆さまへ

通期計画の達成に向けて、 鋭意努力してまいります。

代表取締役社長執行役員COO
(最高執行責任者)

たなか やすのり
田中 靖哲



株主・投資家の皆さまには、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

平成27年12月期(第49期)の第2四半期連結累計期間の決算の概要がまとまりましたので、ご報告させていただきます。

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、緩やかな回復基調を継続しております。このような中、当社グループの業績の状況は、売上高は141億48百万円、営業利益は4億65百万円、経常利益は4億82百万円、四半期純利益は2億85百万円となりました。前年同期比において昨年の特需に対する反動があったことにより減益となりましたが、これはすでに計画において織り込み済みであり、計画に対する達成状況では売上・利益ともに計画を上振れて推移しております。

セグメントごとの状況では、情報サービスは、情報処理サービスのギフト処理サービスなどのBPO事業が順調に

推移したことに加え、昨年のM&Aの効果が表れ売上が伸びました。営業利益はソフト開発プロジェクトにて不採算案件が発生したことなどが圧迫要因となりました。

収納代行サービスは、決済サービスにおいて地方自治体を含む新規取引先の順調な獲得や、昨年の消費税増税後の反動の影響も一巡したことなどにより収納件数が増加し、通常の成長率へと回復してきました。国際送金サービスの処理件数も伸長しております。

続く下期は、BPO事業の大口新規顧客との取引開始や、堅実な収納代行サービスの処理件数増加の下支えにより通期計画の達成を確実なものとし、引き続き将来の成長分野に経営資源の投入を図りながら、事業力の強化と企業収益の拡大にグループ一丸となって邁進してまいりますので、引き続きご支援ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

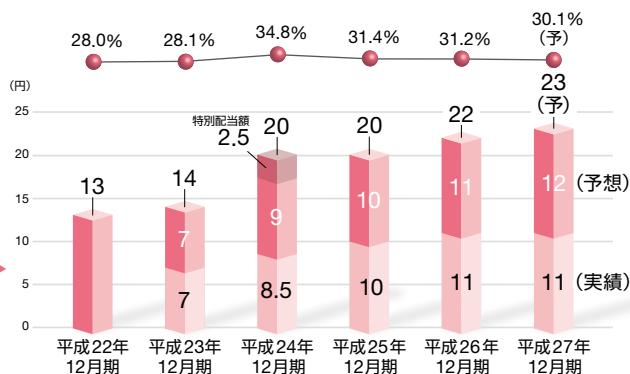
配当について

当社では上場以来、毎年普通配当において増配を維持しており、平成27年12月期は中間11円、期末12円の年間23円を予定しております。

1株当たり配当額の推移(単位:円)

※過去の配当額は、株式分割(平成25年7月1日を効力発生日として普通株式1株を2株に分割)を勘案した数値

- 配当性向
- 1株当たり期末配当額
- 1株当たり中間配当額



BPO事業の 長期的成長の可能性

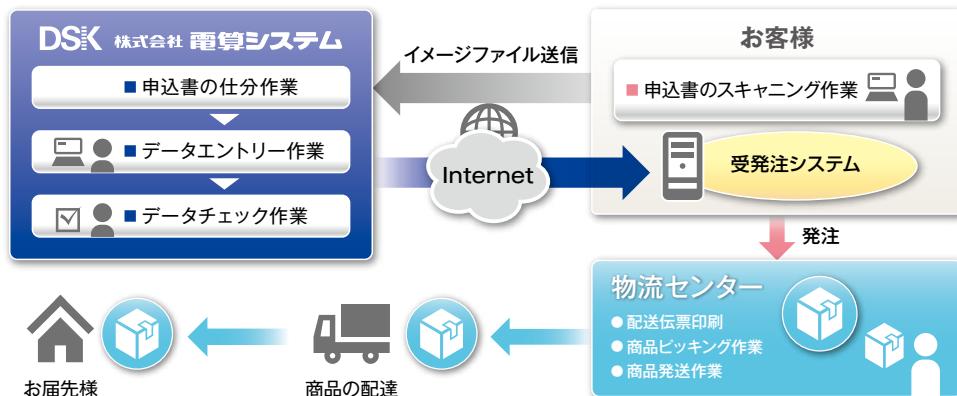
BPOとはビジネスプロセスアウトソーシング(Business Process Outsourcing)の略称です。自社の一部の業務プロセスを外部企業に一括して委託することで、企業は経営資源を自社のコア業務に集中させ、コスト削減、業務の効率化といった生産性・付加価値向上などの目的で利用されるサービスです。当社では、データ入力、情報処理を中心としたIT企業ならではの技術とノウハウを活用したBPOサービスの提供を業界の中でもいち早く提供してきました。

DSKのBPOサービス



当社が得意とするBPOサービスは、主に食品関連企業(通信販売企業)が扱うカタログギフトや頒布会の業務処理におけるBPOです。申込書のデータ入力や処理(受発注等)、送り状の印字処理、発送までのバックオフィス業務をワンストップでご提供するほか、消費者からのお問い合わせに対応するコールセンター業務、商品の到着確認業務等も受託します。

■ ギフト販売業務BPOの事例



DSKのBPOサービスは、以下の企業様をはじめ、多くの企業様に導入していただいています。

- ・株式会社工ニシル 様
 - ・株式会社日比谷花壇 様
 - ・株式会社三越伊勢丹 様
 - ・株式会社岩田屋三越 様
 - ・株式会社上野風月堂 様
- 他70社(H27年7月末)

DSKのBPOサービスの強みとは？

長年の 技術と経験

当社のBPOサービスを支えているのは、創業以来当社事業の柱のひとつである情報処理サービスの経験とノウハウです。当社は来期で50期を迎えますが、IT技術の進歩とともに、優れた情報処理サービス企業としての専門性を提供し続けてきました。その実績はギフトサービス事業のBPOとして評価され、ギフトサービス以外の分野にも広がっています。

データ センター

BPO事業を支えるインフラとして、当社はiDC（インターネットデータセンター）を保有しております。当社のiDCは、サーバーやシステムなどをお預かりする専門施設としてのファシリティを備え、それらの運用・保守・管理などの関連サービスを充実させ、ホスティングをメインにクラウドサービスを展開しています。BPO事業の量的拡大に対してさらに設備を充実させてまいります。

大垣iDC

免震ビルにてハウジングを中心のコーポレーションセンター。

東濃iDC

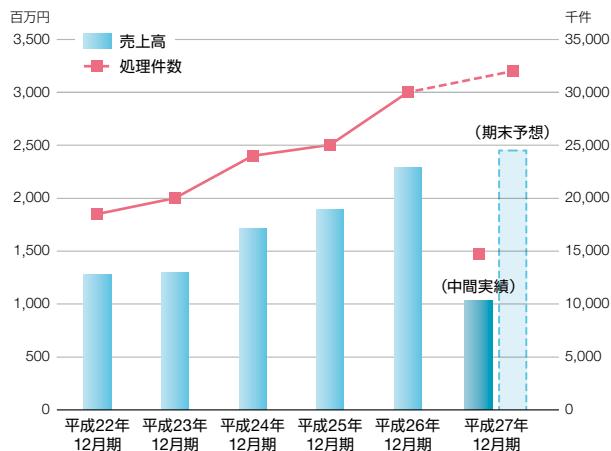
堅牢性とコスト／拡張性を重視したモジュール型を採用。ホスティングをメインにクラウドサービスを展開。



モジュール型の構造で、コンパクトに。エネルギー効率もよく、省電力での運用が可能。

BPO事業の推移と今後の可能性

シンクタンクの矢野経済研究所が発表した市場に関する調査結果(平成26年11月)ではBPO全体の市場規模は、平成30年度には4兆206億円(事業者売上高ベース)に達すると予測しています。さらに、人材不足やマイナンバー制度対応による新しいサービスの需要などが高まることで、潜在的な市場規模はさらに上回るものと考えられます。このような事業環境において当社は、これまでの強みであるギフトサービス分野をさらに強化するとともに、マイナンバー制度に対応した人事給与における業務分野など、ストックビジネス拡大の一つとしてBPO事業をますます伸長させていきたいと考えております。





平成27年12月期 第2四半期(累計)の業績について

当社グループの平成27年12月期(第49期)第2四半期連結累計期間(平成27年1月1日～平成27年6月30日)における業績・財務概況及び通期の業績予想についてご報告いたします。

平成27年12月期 第2四半期(累計) 業績のポイント

Point

1

売上高、利益ともに計画を上回りました。

前年同期比では、売上高は7.6%増収。利益においては前年特需があったことにより減益となりましたものの、計画比では経常利益が12.2%上回る形となりました。

Point

2

純資産は、前連結会計年度末と比較して2億67百万円増加し、79億45百万円となりました。

これは主に、利益剰余金が1億78百万円、その他有価証券評価差額金が73百万円増加したことによるものです。

平成27年12月期 通期業績見通し

平成27年12月期の連結業績は、売上高300億円(前期比13.2%増)、営業利益12億円(前期比4.0%増)、経常利益12億100万円(前期比4.0%増)、当期純利益7億4500万円(前期比8.7%増)を見込んでおります。

単位：百万円、単位未満切り捨て

■ 四半期連結損益計算書(要約)

| | 前第2四半期 平成26年1月1日から 平成26年6月30日まで | 当第2四半期 平成27年1月1日から 平成27年6月30日まで |
|--------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 売上高 | 13,152 | 14,148 |
| 売上総利益 | 2,272 | 2,263 |
| 営業利益 | 637 | 465 |
| 経常利益 | 650 | 482 |
| 四半期純利益 | 373 | 285 |

■ 四半期連結貸借対照表(要約)

| | 前期末 平成26年12月31日現在 | 当第2四半期 平成27年6月30日現在 |
|--------------|----------------------|------------------------|
| 資産合計 | 27,350 | 30,436 |
| 流動資産 | 22,994 | 25,848 |
| 固定資産 | 4,356 | 4,588 |
| 負債合計 | 19,671 | 22,490 |
| 流動負債 | 18,934 | 21,804 |
| 固定負債 | 736 | 685 |
| 純資産合計 | 7,678 | 7,945 |

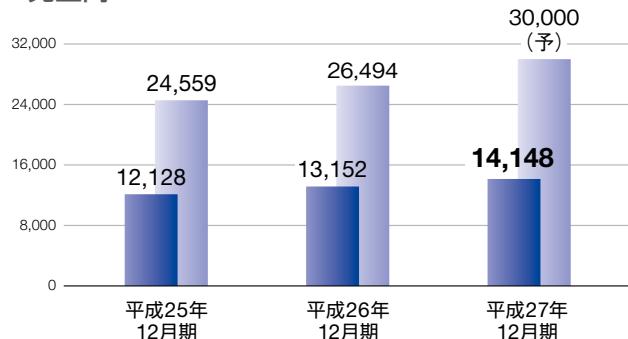


経営指標の推移

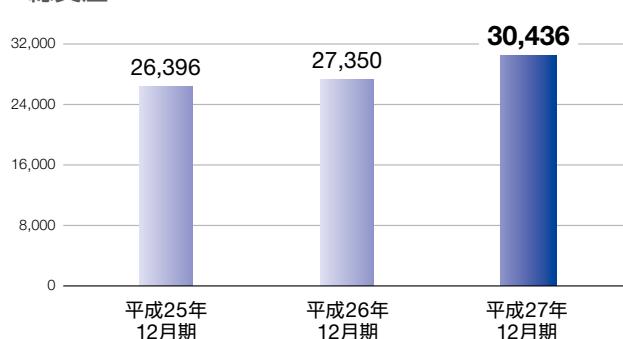
単位:百万円、単位未満切り捨て

■…第2四半期 ■…通期

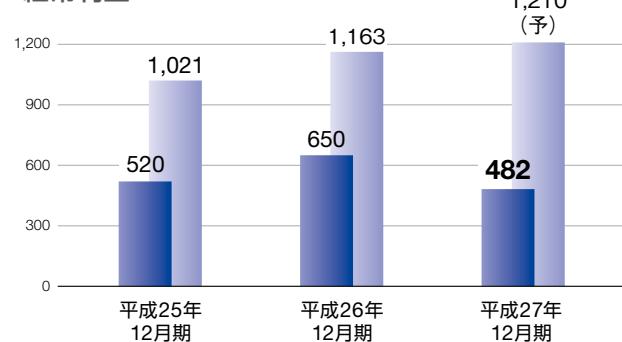
売上高



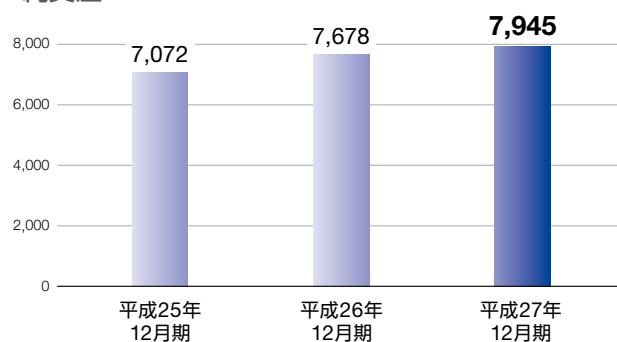
総資産



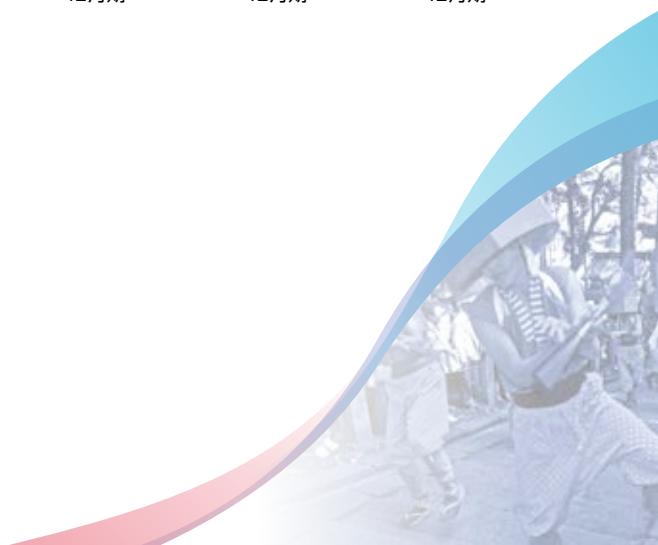
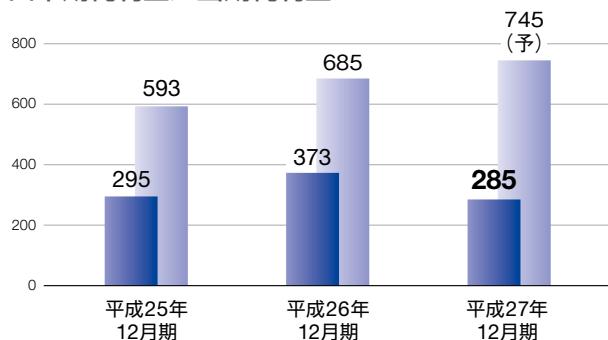
経常利益



純資産

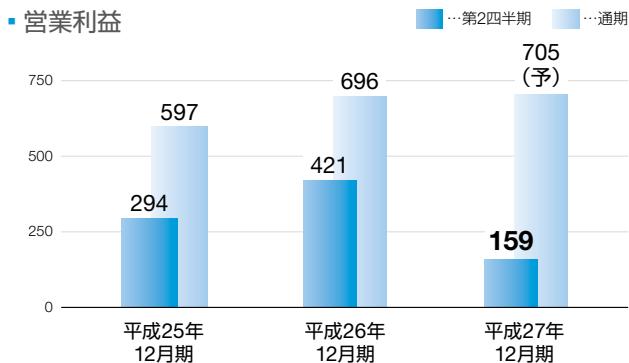
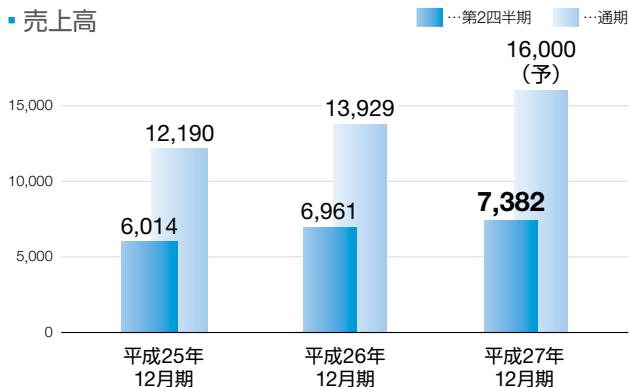


四半期純利益 / 当期純利益



事業別の業績 単位：百万円、単位未満切り捨て

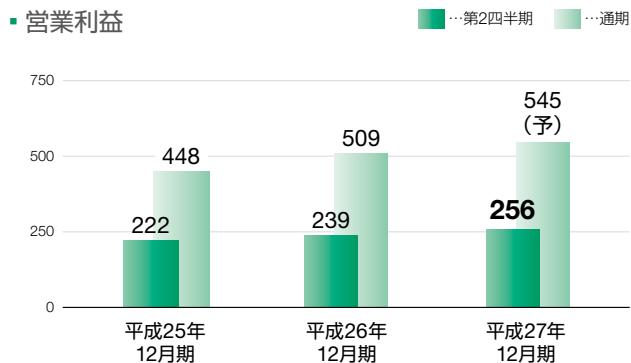
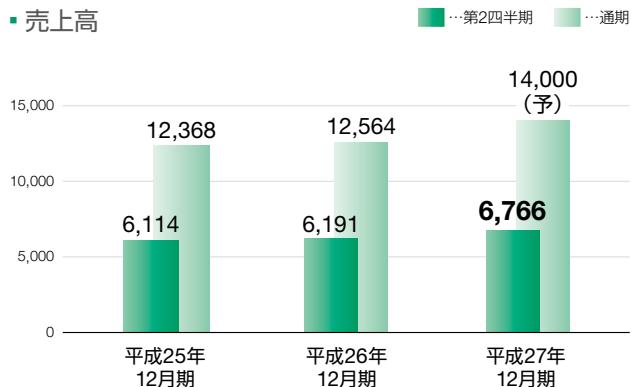
情報サービス事業



**売上高は、前年同期比6.0%増収の73億82百万円、
営業利益は、62.2%減益の1億59百万円となりました**

売上高は、情報処理サービスのギフト処理サービスや請求書作成代行サービスが順調に推移し、グループ会社のガーデンネットワーク株式会社が連結範囲に含まれたことなどから伸ばしましたが、営業利益は、ソフト開発プロジェクトにて不採算案件が発生したことにより利益が減少しました。

収納代行サービス事業



**売上高は、前年同期比9.3%増収の67億66百万円、
営業利益は、7.3%増益の2億56百万円となりました**

決済サービスの売上高は、地方自治体を含む新規取引先の獲得が順調に推移するとともに、既存取引先の消費税増税後の反動の影響も一巡したことから計画通りに推移しています。国際送金サービスを含む決済イノベーションの売上高は、計画の進捗に遅れがあるものの伸ばしました。

一歩先を行くデジタルサイネージシステム

■ホテルグレイスリー新宿様について

ホテルグレイスリー新宿様は新宿駅東口の中心地である旧コマ劇場跡地に“利便性”と“居心地の良さ”を追求したホテルとして誕生しました。ゆとりのある客室に快適なベッド、トイレと分離した独立型の浴室を全客室に設置し、身も心も安らげるステイとワンランク上の至福の眠りをお届けするとともに、カードキー連動型エレベーターや女性専用フロアの設置など、万全の

セキュリティで安心してご利用いただけます。

また、コンシェルジュデスクを設置し、歌舞伎町商店街様の協力を取りそろえたホテル周辺の観光・ショッピング情報のご案内を行っており、今回導入した当社のデジタルサイネージシステム[※]はそれらのご案内にご利用いただいております。

[※]デジタルサイネージシステムとは

ネットワークに接続したディスプレイで映像や情報の発信をする、いわゆる電子看板のことを言います。リアルタイムで更新を行い最新の情報を表示ができるなど、新たな広告メディアとなっています。



2015年4月24日開業

ホテルグレイスリー新宿様からのコメント

Q 電算システムを選んだ理由は？

A 今までデジタルサイネージは、サイネージが独立してあるものが主流であり、あまり見栄えのよいものではありませんでした。電算システムさんの鏡を使用したデジタルサイネージは空間と一体となっており、サイネージ独特の違和感がなくホテルイメージにぴったりだと感じ、導入しました。

Q 今後電算システムに期待するものは？

A 電算システムさんは営業部門・エンジニア部門が統合されており、ユーザー要望に関してスピーディーに対応いただけました。今後も、今回導入したサイネージのように一歩先を行く斬新なものを生み出してほしいと思います。

■ホテルグレイスリー新宿様での導入効果

日本の中心街の一つ新宿にあることなどから、ホテルグレイスリー様のブランドを高めることを第一に考えました。次に、お客様の負担を軽くするために筐体製作からサーバー、STB[※]、ソフト、コンテンツまですべて一貫して当社が担当することによりスムーズな導入作業となりました。

[※]STB: Set Top Box: サイネージ再生用の小型PC

これまでの課題

従来までのポスターや紙面では、館内案内や主要観光地の案内などに各言語に対応した同一内容の媒体が必要になり、種類が多くなると見栄えも悪く情報の管理も煩雑になりがちでした。

導入後の効果

一見すると鏡でありながらコンテンツが浮かび上がるタッチセンサー対応のデジタルサイネージを活用することで、外国籍の宿泊客様も簡単なタッチ操作で言語変換された情報にアクセスが可能となります。これによりサイネージに掲示するコンテンツの管理やフロント業務の軽減が期待されるほか、新宿の新しいランドマークにふさわしい意匠のハーフミラーに映し出されるサイネージによって、洗練された印象をお客様をお迎えすることができます。





平成27年12月期 株主優待の内容が決定いたしました

3,000円相当の商品を進呈!

岐阜県特産品にこだわった優待商品を取り揃え、
当期は東濃地方を主とした特産品の中から、
1つをお選びいただけます。

- 1 中津川市 ちこり村 野菜セット
- 2 恵那市 奥美濃古地鶏ハムセット
- 3 中津川市 恵那どりのケイちゃんセット
- 4 多治見市笠原町 三千盛(お酒)
- 5 八百津町 ビネガーセット
- 6 下呂市 龍の瞳(お米)

対象:平成27年12月31日時点の株主名簿に記載または記録された
1単元(100株)以上ご所有の株主さまを対象といたします。



※写真はイメージであり、実際の優待品とは異なる場合がありますのでご了承ください。

岐阜本社お客様用駐車場を増設しました

今年7月、お客様用の駐車場を岐阜本社西隣の自動車整備工場の跡地に増設しました。これにより幹線道路からの見晴らしも良くなり、地域の景観の向上にも貢献できました。駐車場入り口に設置したフクロウの「フクちゃん」が皆さまをお出迎えし、お客様、地域の人々、そして当社をいつも見守っております。



※「ふくろう」は神の鳥、商売繁盛の鳥、幸運を運ぶ鳥、知恵の鳥などとたくさん*の*いわれがあります。



会社概要及び株式情報 (平成27年6月30日現在)

I 会社概要

| | |
|-------|---|
| 商号 | 株式会社電算システム(Densan System Co.,Ltd.) |
| 設立年月日 | 昭和42年3月14日 |
| 資本金 | 12億2,557万円 |
| 従業員 | 連結716名(単体584名) |
| 事業内容 | ・情報サービス事業(SI・ソフト開発、情報処理サービス、商品販売) ・収納代行サービス事業 |
| 本社所在地 | 岐阜本社 〒501-6196 岐阜県岐阜市日置江一丁目58番地 TEL.058-279-3456 東京本社 〒104-0032 東京都中央区八丁堀二丁目20番8号 八丁堀東急ビル TEL.03-3206-1771 |

I 株式の状況

| | |
|----------------|-------------|
| 発行可能株式総数(普通株式) | 29,760,000株 |
| 発行済株式の総数(普通株式) | 10,027,400株 |
| 株主数 | 12,152名 |

I 取締役及び監査役

| | |
|----------------|--------|
| 代表取締役会長執行役員CEO | 宮地 正直 |
| 代表取締役社長執行役員COO | 田中 靖哲 |
| 専務取締役執行役員 | 小林 領司 |
| 専務取締役執行役員 | 松浦 陽司 |
| 常務取締役執行役員 | 杉山 正裕 |
| 取締役執行役員 | 加藤 徹 |
| 取締役執行役員 | 目黒 洋之 |
| 取締役執行役員 | 後藤 治人 |
| 取締役 | 盆子原 誠治 |
| 監査役 | 澤邊 茂美 |
| 監査役 | 富坂 博 |
| 監査役 | 野田 勇司 |

- (注)
1. CEO (Chief Executive Officer) 最高経営責任者
 2. COO (Chief Operating Officer) 最高執行責任者
 3. 盆子原誠治氏は、社外取締役(非常勤)であります。
 4. 富坂 博、野田 勇司の両氏は、社外監査役(非常勤)であります。

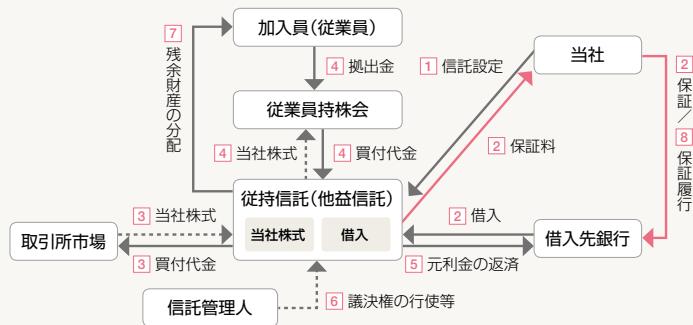
「信託型従業員持株インセンティブ・プラン(E-Ship®)」の導入について

当社は、「信託型従業員持株インセンティブ・プラン(E-Ship®)」の導入を決定いたしました。本プランは、信託と従業員持株会を組み合わせることで従業員の自社株取得・保有を促進するスキームです。

本プランによる従業員持株会の拡充を通じて、従業員の財産形成を支援することが福利厚生性の増進策となる上、中長期的な企業価値の向上が従業員の共通認識としてさらに醸成されることを目的としております。

※E-Ship®は野村證券株式会社の登録商標です。

■「信託型従業員持株インセンティブ・プラン(E-Ship®)」の仕組み



IRサイトのご紹介

当社では、ホームページにて即時情報開示に努めております。
個人投資家向けIRサイトも設置しておりますので、ぜひご覧ください。



ご登録は
こちら

電算システムIR
メールマガジン

最新のIR情報をお届けします



ぜひご登録ください！
IRメールマガジンをスタートしました。

当社の最新ニュースなどをEメールでお知らせするIRメール配信をスタートしました。
当社ホームページにて登録を受け付けております。ぜひ、ご活用ください。

IRサイト <http://www.densan-s.co.jp/ir/index.html>

個人投資家向けサイト <http://www.densan-s.co.jp/ir/individual/index.html>

株主メモ

| | |
|-----------------|---|
| 事業年度 | 毎年1月1日から12月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年3月中 |
| 基準日 | 定時株主総会・期末配当 毎年12月31日 中間配当 毎年 6月30日 |
| 単元株式数 | 100株 |
| 公告方法 | 電子公告とします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法とします。 【当社ホームページ】 http://www.densan-s.co.jp/ |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所市場第一部 名古屋証券取引所市場第一部 |
| 株主名簿管理人 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 |
| 同事務取扱場所 | 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 |
| 特別口座の 口座管理機関 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 |

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

●住所変更のお申出先について

株主さまの口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社等に口座を開設されていない株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●配当金計算書について

配当金支払いの際に送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主さまにつきましても、配当支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。＊確定申告をなされる株主さまは、大切に保管ください。

株式会社 電算システム